

集会案内

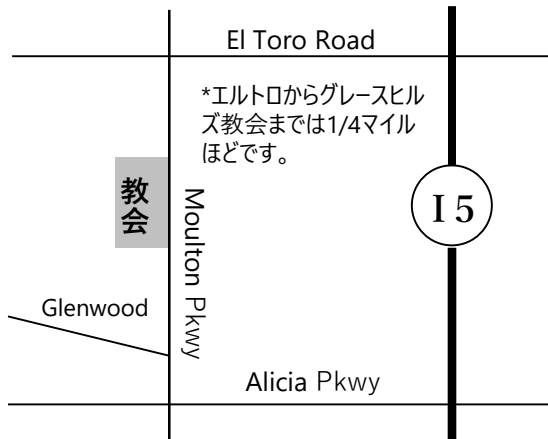
毎日曜日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
 礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
 茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
 聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月 1 回： 家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
 1 0 : 3 0 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
 24521 Moulton Pkwy
 Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第 1 バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 1 2 年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先：

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
 Eメール：sugimura1950@gmail.com

田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
 Eメール：mt.moriya77@gmail.com

Rev. Tsukasa Sugimura

◎石叫 ■ 「ナイキ」①
 今やスニーカーやスポーツウェアなどスポーツ関連商品を扱う世界的企業「ナイキ」を知らない人はいない。その代表取締役のナイト氏の物語である。彼は一九六二年に日本に行った。それは「大学の論文で、『もし日本のカメラがドイツのカメラを打ち負かせるなら、日本のアスレチックシューズも、ドイツのアディダスやプーマを打ち負かせるはずだ』ということを書いていた。そして見つけたのが、オニツカだった」。その足で神戸の本社に「飛び込み営業」をかけ、自分は会社経営者だとハッタリをかまし、なんと、オニツカシューズのアメリカ西部十三州での販売権を得た。だが、会社はいつも火の車だった。でも成長するために今日の心配はしない。いつの日か実を結ぶ。それが彼らの信条だった。しかし自転車操業には限界があった。とうとう彼はそれまで決してやるまいと誓っていたことに踏み切ってしまった。友人、家族、顔見知りのために救いの手を求めたのである。創業者の一人、ウツテルの両親は息子や将来のために蓄えていた三千ドルを喜んで貸してくれた。彼は、その時の母の言葉を忘れない。「息子が働いている会社を信用できなくて誰を信用できるの？」ってね。
 一九七〇年、現地にあった日商岩井ポルトランド支店をナイトが訪ねたところから両社の関係が始まる。営業担当だった皇(すめらぎ)孝之は、当時二十八歳。日商岩井のポルトランド支店で営業を担当して、新しいビジネスを発掘するため日本から赴任したばかりだった。「我々がよく言っていたのは、あたるのは百に三つ。仕事仕事が見込めると考え、資金面でのサポートを決めた。ナイトが日本からは融資をしてくれなかったし、我々が成功すると信じてくれなかった。でも日商岩井と皇さんは我々が成長すると信じてくれた」。こうしてナイキブランドが立ち上がった。しかしナイキは知名度が低く、靴が売れなかった。支払いができないことがあったが、皇は絶えず手を差し伸べた。ウツテルは言う、「彼は我々の請求書を机の中に隠した。それは我々の想像を全く超えたものだった」。支払いが遅れば事業は差し止めになる。それを防ぐためだった。支払い

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力ですべての毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。